

令和5年第3回大河原町議会定例会（9月会議）

一般質問通告書

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
1番	万波孝子	1. 「マイナ保険証」について	<p>政府は来年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一本化する方針でいる。しかし、マイナンバーカードをめぐるトラブルが相次ぎ、個人情報漏えいが起きている。こうした中、共同通信が7月に実施した世論調査では、現在の健康保険証を来年秋に廃止し、マイナンバーに一本化する政府の方針に対して、「延期」「撤回」を併せて76.6%が求めていることが明らかになった。そこで、伺う。</p> <p>(1) 全国でトラブルが続出しているが、            ① 別人の情報がひも付けの誤り            ② 公金受取口座の誤登録            ③ コンビニでの別人の証明書の交付などのトラブルは本町でも起きているか。</p> <p>(2) 共同通信が全国の市区町村長を対象に来秋の健康保険証廃止に対する受け止めについてアンケート調査を実施しているが、町長はどのような姿勢で臨んだのか。            参加した首長の1,466人の90%がマイナンバーカードに関する事務負担を重いと感じていると回答している。本町はどうか。職員体制は。課題は。</p> <p>(3) 「マイナ保険証」の事務作業はどのように進められているのか。</p> <p>(4) 本町のマイナンバーカードの普及率は。            普及率に応じ地方交付税の配分を優遇する措置がとられているようだが、本町の状況は。こうした措置を町長はどう考える。</p> <p>(5) 介護支援が必要な高齢者や知的・精神障害などで判断能力が不十分な人へのマイナンバーカード取得対応は。</p> <p>(6) マイナンバーカードを持っていない人には、保険証の代わりに「資格確認書」が発行されることになっている。            ① これについて詳しく伺う。            ② 資格確認書になると医療機関の窓口負担は変わるのか。</p>
		2. 放課後児童クラブの夏休み昼食推進について	<p>共働きの家庭の子どもは夏休みなどの長期休暇も放課後児童クラブを利用している。昼食がないため親が早起きして弁当を作る負担や食中毒の危険といった課題があり、保護者から昼食を希望する声が上がっている。</p> <p>子ども家庭庁は7月に小学校の夏休みに伴う放課後児童クラブでの昼食提供の推進に乗り出したと聞</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
1 番	万波孝子	2. 放課後児童クラブの夏休み昼食推進について	<p>いている。 これを受けて、本町でも実施に向け、具体化していくべきと考える。そこで伺う。</p> <p>(1) 子ども家庭庁から放課後児童クラブの夏休み昼食推進に関する事務連絡がきていると思うがその内容について。宅配弁当の活用といった事例を紹介しているのであれば示して欲しい。</p> <p>(2) 町内で8ヵ所で放課後児童クラブを開設しているが、昼食提供に関するアンケート調査が必要と思うがどうか。</p> <p>(3) 実施に向けての課題について伺う。加えて実施時期の見通しはどうか。</p>
		3. 学校プールについて	<p>長期の夏休みが終わり、8月21日から1学期後半がスタートした。連日、記録的な猛暑が続き、夏休みのプールは使用できない状況下にあった。各地の学校や教育委員会でプールを中止する動きが広がったといわれている。そこで伺う。</p> <p>(1) 各小学校の夏休み期間中のプールは一度も使用できなかったのか。状況について伺う。併せて中学校の部活プールの利用状況について伺う。</p> <p>(2) 地球温暖化による異常な猛暑は今夏に限らず毎年となれば夏休みのプール使用だけでなく、小学校のプール授業や中学校の部活プール等、教育にも大きな影響がでてくるものと思われる。どのように対応していくのか。</p> <p>(3) 今後、打開策として民間プール施設の活用や屋内プール建設計画が必要となると考えられるが見解を伺う。</p>
2 番	高橋芳男	1. 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について	<p>1 番目の質問は、視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進についてであります。 全ての障がい者が、障がいの有無によって分け隔てられないことない社会をめざし、障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が2022年5月に施行されました。ところが、今でも視覚障がい者にとっては、情報の取得や利用に多くの苦勞があります。内閣府のホームページにも以下のように掲載されています。「視覚障がいのある方は必ずしも点字を読めるわけではなく、多くの方は、主に音声や拡大文字によって情報を得ています。文字情報を音声にする方法は補助者による代読や、パソコンの音声読み上げソフトを用いる方法のほか、文字内容をコード情報（音声コード）に変換して活字文書読上装置を使って音声化する方法があります」と。視覚障がいの手帳を持っている人のうち、「点字」が読める人は、わずか1割。視覚障がい以外の</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
2 番	高橋 芳 男	1. 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について	<p>疾病や高齢化などで、文字を読み辛い人は160万人いるとの報告もあります。</p> <p>全ての障がい者が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、情報の取得やその利用、意思疎通ができる社会の実現をめざした法整備も整っているわけですので、町民に送付される公的な通知について、この「音声コード」の普及を推進、検討すべきだと思うが、町長の見解を伺う。</p>
		2. 水害における被災家屋認定調査の官民連携（損保会社）の推進による迅速な認定について	<p>2番目の質問は、水害における被災家屋認定調査の官民連携の推進による迅速な認定についてであります。</p> <p>地震や暴風被害においては水害と違い、自治体と損保会社の認定方法が異なっており、地震保険の損害認定基準は迅速な保険金支払いを実現するため、公的支援の要件となる罹災証明書の認定基準と比べると民間は簡素化されている。被災地での状況の共有を行うと、保険金支払いの迅速性等に影響を及ぼす恐れなどの課題がある。公平性を保ちながら地震や暴風被害でも民間の協力を得るために、認定方法について見直しを進めるべきだと考えます。</p> <p>三井住友海上保険では、2021年から自治体向けサービスとして、水害時の保険料支払いのために調査した被災家屋の写真や被害状況を、契約者同意のうえで罹災証明書発行の資料として無償提供する協定を45市町村と結びサービスを導入している。同社によると、損害保険は調査から支払いまで最短3日で完了するとしている。また自治体によっては発行申請も同社経由で可能としており、被災者による自治体への手続きは不要になるケースもある。2020年、あいおいニッセイ同和損害保険は、福井市と水害時の保険調査で撮影した被災家屋の画像などを提供する覚書を交わしている。地震被害の場合、瓦屋根の一部が損壊し、雨対策としてブルーシートを張るが、住民が屋根に上がれない場合に屋根が壊れているかどうか確認ができない時に、悪徳業者が「隣の屋根に上がって作業したが、お宅の屋根も少し壊れているのでブルーシートをかけましょう」と言って、後ほど高額請求をするという事案が起きている。損保会社がドローンで被害状況を調査するケースも増えており、損保会社から映像を提供してもらい、被災者に情報提供すれば、悪徳業者に騙されることも防げるようになります。</p> <p>官民の連携により、正確で迅速な保険の支払いを実現し、悪徳業者からの被害もへらせるため、推進していくべきだと思うが、町長の見解を伺う。</p>
		3. 熱中症対策の推進について	<p>3番目の質問は、熱中症対策の推進についてであります。</p> <p>気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者は増加傾向が続いており、自然災害による死亡者をはるかに上回っています。厚生労働省が公開した人口動態統計月報（概数）によると、2022年6月～9月の</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
2 番	高橋 芳 男	3. 熱中症対策の推進について	<p>熱中症死亡者数は1,387人に上がっています。また今後、地球温暖化が進行すれば、極端な高温の発生リスクも増加すると見込まれ、我が国において熱中症による被害が更に拡大する恐れがあります。特に熱中症で亡くなる方の多くを占めているいわゆる「熱中症弱者」と呼ばれる高齢者の皆様に、熱中症予防のための行動を意識していただくことも重要になります。高齢者の皆様は、暑さやのどの渇きに対して敏感ではなくなっているケースもあり、消防署の調査によると、熱中症による救急搬送者の約5割が高齢者となっております。そこで、高齢者の皆様への効果的な熱中症予防を進めるために、介護や地域保健部門の関係者が一体となって、対策を的確に進める必要があります。</p> <p>現在、高齢者の皆様への効果的な熱中症予防を進めるために、介護や地域保健部門の関係者と連携し、どのような取り組みを進めているのかお聞かせください。8月の国会で改正気候変動適応法が成立し、来春に施行予定で、現行の「熱中症警戒アラート」を「熱中症警戒情報」として法的に一段階上に位置づけ、より深刻な事態を示す「熱中症特別警戒情報」が新設され、さらに自治体での対策促進へ区町村が冷房施設を有する公共、民間の施設を「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」として指定し、「特別警戒情報」が発表された場合には一般的に開放できるとしました。</p> <p>熱中症による救急搬送の発生場所の7割が室内となっており、いざ高温になった時、エアコンを入れても動かないとか、エアコンのフィルターが汚れていて部屋が冷えない等のトラブルが、命に及ぶ危険性もあります。熱中症予防のため、対策の啓蒙やクーリングシェルターの整備が必要だと思うが、町長の見解を伺う。</p>
3 番	佐藤 暁 史	1. 帯状疱疹（つづらご）のワクチン接種の助成について	<p>新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から、5類感染症に移行となった。ようやくマスクをしない日常が戻り、一つの区切りだと感じている。しかし厚生労働省は8月14日、全国約5千の定点医療機関から7月31日から8月6日の1週間で感染者数は7万7937人と発表している。一医療機関あたり15人以上で、感染者数は23都道府県で増加している(河北新報より抜粋)。つまり5類になったとはいえ感染力が衰えているわけではなく、このことは軽視できない事実である。</p> <p>新型コロナの感染が拡大すると、帯状疱疹（以下「つづらご」という。）の発症率が高まるとの話を耳にする。調べてみると国内では公式の統計は出ないがブラジル(International Journal of Infectious Diseases)、アメリカ(Open Forum Infectious Diseases)などで関連性が指摘され調査されている。つづらごは免疫力が落ちるとウイルスが活性化して発症率が高まるので、新型コロナウイルス感染症の症状と因果関係が無いとは言い切れな</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
3 番	佐藤 暁史	1. 带状疱疹（つづらご）のワクチン接種の助成について	<p>いのではないだろうか。新型コロナが5類へ移行後、人々の行動制限はなくなった。しかし感染すると症状が重篤化する高齢者は、依然として気を付けなければならない状況下にある。</p> <p>また、つづらごは50歳からの発症リスクが大幅に高まると言われており、予防するためにはワクチン接種が有効な手段の一つである。本来ならばストレスのない生活をし、適度な運動などで免疫力を高め発症のリスクを軽減することが一番良いと理解している。しかし昨今の社会情勢を見ると、8月23日の時点で本町のガソリン価格は180円を超えた。さらにその他の物価も軒並み高騰しており、この社会情勢を鑑みると町民の生活は非常に厳しい状況だと言えるのではないだろうか。この状況下で町民のストレスが軽いとは考えにくい。これは全国的にも言えることなので本町だけに限らないことなのだが、本町の町民の生活と健康に寄り添う施策が必要と考えることから以下伺う。</p> <p>(1)2022年12月に同僚議員がつづらごのワクチン接種について一般質問した。町長は市町村が主体となって行う定期接種になった際には接種費用の助成を検討すると回答していた。しかしこの厳しい社会情勢を踏まえると、つづらごのワクチン接種が自己負担で行う任意接種だとしても、接種費用を助成し町民の生活と健康を守るべきではないのか。</p> <p>(2)近隣の市町では65歳以上の町民を対象につづらごのワクチン接種費用を助成している。本町でも65歳以上または後期高齢者と年齢制限を設け、任意接種だとしてもつづらごのワクチン接種費用を助成するべきではないのか。</p>
4 番	大沼 忠弘	1. 交通環境の整備について	<p>実際にあった出来事を伝えられた話をします。大河原駅前で、視覚障がい者の方がお困りの様子だったのを見兼ねて声をかけたところ、コンビニに行きたいという事で案内したそうです。心配だったので帰りは大丈夫か見届けようと様子を伺っていると、やはりお困りの様子でいたので再び声をかけました。どちらまで行かれるのか尋ねたところ、「駅裏まで帰る」ということでした。駅裏にもコンビニがあるので、そのことを話したら当然そのことは分かっているのですが、駅裏には点字ブロックや、プランターのような視覚障がい者にとって位置を認識するための印になるものが無いので、多少遠くても点字ブロックがある駅前まで来たという事でした。</p> <p>これまでも駅前広場の点字ブロックエリアを拡張することなど、誰ひとり取り残さない多様なひとに優しいまちづくりに本町は取り組んできた。また、今年4月から自転車乗車時にヘルメットの着用が努力義務化されたことに伴い、小中学生へのヘルメット購入補助を早急に行うことで安全拡大に積極的な取</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
4 番	大 沼 忠 弘	1. 交通環境の整備について	<p>り組みを行った。さらに本町は主要な幹線道路が通じている他に、鉄道、バスの公共交通の利用者が多く行き来する交通の要所でもある。さらなるひとに優しく安心して安全な交通環境づくりが拡大されることを目指し、以下伺う。</p> <p>(1) 現在町内の点字ブロック設置状況はどのようになっているのか。また、点字ブロックエリア拡大の考えはないか。</p> <p>(2) 小中学生以外にも町民全般に自転車用ヘルメット購入助成を拡大して欲しいとの要望に応える予定はないか。</p> <p>(3) J Rの方針ではあるが大河原駅のみどりの窓口が閉鎖となった。最寄りのみどりの窓口がある駅は岩沼駅と白石駅であるが、本町は公立高校や公官庁が集まっており、駅利用者の利便性等を考慮し、町のポテンシャルを示す上でもみどりの窓口再開が望ましいと考える。J R側と協議、交渉することは出来ないか。</p>
		2. こども 110 番の家について	<p>防犯メールや町公式LINEから本町、あるいは近隣自治体で発生した不審者情報等が時折流れてくる。情報では児童が不審者から怖い思いをする事案が含まれている。また、この猛暑により隣県では部活帰りの生徒が熱中症で路上に倒れ、死亡する事案が発生している。こども 110 番の家は地域ぐるみで児童を犯罪から守る取り組みであるが、熱中症などの症状により救助を求める際にも飛び込める場所として重要度が増しているのではないだろうか。児童生徒の安心と安全が広がることを望み以下伺う。</p> <p>(1) 現在こども 110 番の家の登録件数と普及活動状況は。</p> <p>(2) これまでにこども 110 番の家に逃げ込むような事例はあったか。</p> <p>(3) 児童生徒へのこども 110 番の家周知はどのように行われているか。</p>
		3. 調理室の活用、食のブランド化について	<p>にぎわい交流施設には本格的な厨房設備を構えた食の開発室があり、食の職人による手ほどき講座が開かれるなどしてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、講座の中止を余儀なくされる状況が続くなどしてきた。他に、いきいきプラザや金ヶ瀬公民館にも調理室が整備されているが、同様の事由により利用が多くはなかったものと受け止めている。食のブランド化をより積極的にすすめて行く上でも食の開発室、調理室を有効かつ効果的に利用促進することはもちろんだが、せっかくの町の財産であるすばらしい設備を町民に存分に利用しても</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
4 番	大沼忠弘	3. 調理室の活用、食のブランド化について	<p>らえるよう以下伺う。</p> <p>(1) 食の開発室、いきいきプラザ調理室、金ヶ瀬公民館調理室、コロナ禍での利用減があるのは致し方のない事として、利用実績を示して欲しい。</p> <p>(2) 本年度も食のブランド化に予算が計上されている。コロナ禍において飲食を伴う事業が困難ということで食の開発室も使用できなかったことが続いた経過があるが本年度はどのような展開をするのか、あるいはしたのか。</p> <p>(3) 食のブランド化戦略方針はどうなっているか。</p>
5 番	丸山勝利	1. 本町の平和教育について	<p>先月の8月15日で太平洋戦争終戦78年目を迎えた。1941年(昭和16年)12月8日ハワイの真珠湾攻撃により始まった太平洋戦争で、3年8か月にわたり繰り広げられた戦いにより日本の死者310万人以上が犠牲になった。その中でも78年前の昭和20年8月6日にウラン型原子爆弾が広島に投下され、正確にはわかっていませんが、放射線による急性障害が一応おさまった昭和20年12月末までに約14万人が死亡。8月9日は長崎にプルトニウム型原子爆弾が投下され、昭和20年12月までの推計で約73,884人が死亡。広島、長崎合わせて推計213,884人の尊い命がアメリカ軍による原爆爆撃で奪われた。一瞬にして多くの民間人の命を奪う核兵器使用は、いかなる理由があろうとも私には肯定できません。長崎の原爆が世界で最後の核兵器使用にしなければならないと強く思うところです。しかしながら世界では、国連常任理事国5か国すべてが核兵器を保有し、しかも常任理事国のロシアが核兵器を持たないウクライナに侵攻し核兵器の使用による威嚇で他国の関与やロシア国内への攻撃を抑止しているのが現状で、核を持つ国が持たない国へ一方的に攻撃を加える事態になっている。</p> <p>ロシアの隣国である日本も、国家国民を守るために憲法9条の理念だけでは守れない状況にあるのが現状です。</p> <p>本町も昭和61年3月20日に大河原町「非核・平和の町」宣言をしている。宣言の中に、わがまちの将来を背負う子供たちの未来が、永遠に戦争のない平和な社会であるように、『大河原町「非核・平和の町」を宣言します。』とあることから以下伺う。</p> <p>(1) 本町の各小中学校の図書室には原爆や戦争に関する書籍が何冊ずつあるか。また図書館には何冊の蔵書があるか。</p> <p>(2) 小中学校において戦争や原爆の授業時間と内容はどのようになっているか。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
5 番	丸山 勝利	1. 平和教育について	<p>(3) 会派「がわらの会」の令和4年度南九州市行政視察で知覧特攻平和会館を視察したが、事業の中に「平和へのメッセージ from 知覧スピーチコンテスト」が「あした いのち かがやけ」をテーマに開催されている。本町からの応募はこれまでであったか。</p> <p>(4) 平和学習の中にオンラインによるPCやタブレットを活用した授業を行っているか、また、今後の予定はないか。</p>
6 番	中村 淳	1. 上水道施設を活用した小水力発電について	<p>3月議会で同僚議員からあった小水力発電についての質問に対し、問題点が多々あり一っ飛びに実現に至らない様子であったため、上下水道施設を活用した小水力発電について改めて質問する。</p> <p>(1) 町の上水道施設の水源からの導水管、浄水場からの送水管、及び配水管に設置可能な発電施設を提案しようと思うが、取水口からの導水管の着水井との接続部分や送水ポンプからの送水管の配水池との接合部分等が町内にどの程度あるか伺う。</p> <p>(2) そのうち、自然流下、ポンプ加圧問わず、流量500 m<sup>3</sup>/hで有効落差30m程度のもの又は、流量1000 m<sup>3</sup>/hで有効落差45m程度のものは存在するか伺う。</p> <p>(3) 水道施設における水利権者を伺う。</p> <p>(4) 水道施設を使った発電事業を行う考えはないか伺う。</p> <p>(5) 発電業者に場所貸しする事が可能か伺う。</p>
		2. 防火用水の管理について	<p>町内各地に点在する防火水槽の管理状況の実態について質問する。</p> <p>(1) ここ数年の水替えなどの実態を示して欲しい。</p> <p>(2) ボウフラ対策として魚が生息している防火水槽が存在しているが、実際に消防に使う場合に問題はないか伺う。</p> <p>(3) 老朽化している転落防止フェンスも見受けられると思うが改修計画があれば示して欲しい。</p> <p>(4) 消火栓が過去に比べ充実してきていると思うが、防火水槽の廃止は検討しているか伺う。</p>
7 番	佐久間 克明	1. 町民向けの発信力強化を	<p>コロナウイルス感染症の5類移行を受け、人の活動や行動の範囲が広がってきたように感じている。本町でも桜植樹100周年記念事業も絡めた「おおがわ</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
7 番	佐久間 克明	1. 町民向けの発信力強化を	<p>ら夏祭り」の開催や各行政区等の盆踊りも開催されている。議会においても議会広報常任委員会が新潟県、山形県で先進地研修を行ってきた。以前から先進地視察研修に行くと感じていたことではあるが、本町行政の取組みや各種町民向けサービス、人口動向、出生数は減でも子育て世代の移住の増。更に地理的視点で見た場合においても、災害が少なく、国道、県道、町道が整備された交通網があること。官公庁、医療施設、商業施設が充実していること。四季を視覚でも感じる事ができる多世代が暮らしやすい環境等、全般的に他自治体と比較して進んでいると感じている。また個人・団体での趣味や講座を通しての活動も活発に行われている。しかしこれらは効果的にPRされていないのではないかと残念に思う所もある。</p> <p>本町は今、桜植樹100周年、河川敷整備等、多くのPRする材料があるからこそ、様々に周知や興味をひく手法を考える絶好のタイミングである。町外に対するシティセールスは大切だが、ぜひより多くの町民に知ってもらいたいと考えていることから情報発信の方法と強化について以下質問する。</p> <p>(1)紙媒体とSNSによる情報発信の種類を示してほしい。</p> <p>(2)情報量が多い現在において早くて正確な情報発信の必要性を感じる。何かこれまでとは違った手法で情報発信は検討しているのか。</p> <p>(3)地域ネコの保護活動を行っている町民の方から相談があった。以前、同僚議員の一般質問でもあったが個人での負担が大きい活動である。保護活動を行っている人が身近にいるという事実を知ってもらいたい。オータムフェスティバル等イベントの際に譲渡会や触れ合える場(命の大切さを感じる場)を提供してほしい。という内容であった。開催できるようにしてほしいのは勿論だが、これをヒントにイベントの際に場を設けて個人団体だけではなく、町の希望する課が取り組みをパネル展示するなどして対面で紹介する手法も良いのではないかと考えるがどうか。</p>
		2. 河川敷環境の拡充を	<p>これまでも同僚議員から浚渫等も含め多くの質問がなされてきた河川について、県と町のコラボ事業でここまで右岸河川敷整備事業が進捗していることをとても評価します。更にはスポーツを通じたまちづくり等、様々な事業と抱き合わせて展開していることに、とても明るい未来を感じています。</p> <p>一方、コロナ禍を経験し、ウィズコロナ・アフターコロナという言葉やスタイルができ、毎年最低賃金が見直され時給1000円になろうとしているが、それ以上に燃料や資材、食料の価格が上昇し続け、家</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
7 番	佐久間克明	2. 河川敷環境の拡充を	<p>族での過ごし方、働き方等、時間とお金のかけ方も変化している。普段の休日は近場でのおんびり家族と過ごして早めに帰宅する傾向があると商業を通して実感している。この「近場」に本町の河川敷周辺環境が入り込めれば、にぎわい創出につながると思い質問する。</p> <p>(1) 7月に大河原町商工会青年部が河川敷左岸で開催したデイキャンプ事業は一般の方も参加し盛り上がったと聞いた。報告を受けた所感を聴きたい。需要が見込めるのではないかな。</p> <p>(2) これまでも質問したがやはり、大河原公園を含めた左岸側と右岸側の接点が必要で重要ではないかと考える。世代間問わず1人から家族で楽しめるアスレチック施設があつてよいのではないかな。大きな施設ではなく、有料でも目玉になるもので良いと考える。今年8月28日高知県仁淀川町に「ニヨドフライハイ」という絶叫吊り橋と爽快ジップラインがオープンした。左岸と右岸を繋ぎ、人を寄せ交流人口増にも貢献するのではないかな。</p> <p>(3) 質問するにあたり施設だけでなく、水辺を取り巻く周辺環境が繋がりをもって展開されていると感じている、石巻市「かわまちオープンパーク」、名取市「かわまちてらす閑上」を歩いてきた。</p> <p>① 本町が設置するクラブハウスの在り方に関するサウンディング調査に進展はあつたか伺う。</p> <p>② かわまちてらす閑上には海をバックに日本財団海と日本プロジェクトの「BLUE」とハートの造形があり写真スポットになっている。また、海をバックにした木製ブランコが設置されている。本町もミズベリングを前面に出した写真スポットを早々に設置してはどうか。</p> <p>③ かわまちてらす閑上の近くに、1周4kmのサイクリングロードを有する「名取ゆりあげ温泉『輪りんの宿』」があり、自転車を持ち込んで泊まれる部屋もある。更に地元名取のハンバーグ老舗『HACHI』が運営するレストランが入っており宿泊者、日帰り温泉利用者に食事提供している。官民連携の事例として本町も参考にできるのではないかな。</p> <p>④ どちらの施設にも、食事を提供するメインとなる店舗以外に座席数が少なく、小さい飲食店が多数配置されている。この配置があることで地元の人でも通うことに繋がっていると感じる。本町のクラブハウス建設時には採用して、チャレンジショップ枠にするなど考えられるのではないかな。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
8 番	佐藤 貴久	1. 改善計画書実施状況を確認する	<p>特定非営利活動法人大河原スポーツ振興アカデミー（以下NPOとする）が令和3年10月15日付けで提出した「不祥事の再発防止のための改善計画書」に関して、令和4年2月24日付けで、NPOの前理事長より実施状況が報告された。当該報告書の指針等に基づき、以下質問する。</p> <p>(1)危機管理意識・コンプライアンス意識の向上に関して 全員の研修を年2回（5月、11月）実施すると規定してあるが、令和4年度は何回実施したのか。また、実施の期日と研修内容を示して欲しい。</p> <p>(2)風通しのいい職場環境づくりに関して 職場からの報告や意見、相談がスムーズに行われる風通しの良い職場にするため、職員のコミュニケーションを図り組織力の向上に取り組むと報告されているが、令和4年度において、報告通りの実施状況なのか確認する。</p> <p>(3)複数人チェック体制の強化に関して ①常に2名以上の複数職員で相互にチェックするような体制づくりを実施するとあるが、相互チェックは実施されているのか。 ②隔週で幹部職員ミーティングを行い、意思疎通を図ると報告されているが、施設リーダーとのミーティングも実施されていると判断してよいか。</p> <p>(4)内部通報制度の確立に関して 改善計画書実施状況によれば、内部通報制度を作り、理事長、副理事長に通報、相談をしやすい制度にすると規定されている。当該制度は機能しているのか。また、実績はあるのか。確認する。</p> <p>(5)理事会の開催に関して 令和5年3月27日の臨時理事会開催の主たる目的は何か。また、議事録は作成されているのか。議事録の作成は事務局長が担当しているのか。その内容を執行部は内部検証しているのか。</p> <p>(6)大河原町クロスカントリー大会に関して 改善計画書との互換性はないが、大河原町体育施設指定管理者業務仕様書に明記されているので質問する。NPOはクロスカントリー大会において、大会事前・当日等の準備及び大会運営として協定すると規定されている。令和4年度も実行委員会の事務局としての業務を担っていたが、大会は中止。約49万円のサンクコストを産み出す結果となった。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
8 番	佐藤 貴久	1.改善計画書実施状況を確認する	中止によって参加希望者が得たものとは何か。本町が失ったものとは何か。確認する。
9 番	須藤 慎	1.全国学力テスト及び全国体力テスト等について	<p>(1)令和5年7月31日に、「全国学力テスト（対象：小学校6年生・中学校3年生）」の結果が公表され、同8月1日の河北新報朝刊に、「仙台市を除く宮城県内の平均正答率は、全教科で全国平均を下回った。県教委が危機感」と大きく報道された。県教委義務教育課の千葉課長は、「結果は、市町村によって異なり、仙台市の成績を上回る地域もある。良い結果が出た市町村の取り組みを紹介する機会をつくりたい。」とのコメントも掲載されていた。昨年的一般質問で取り上げたが、その際に教育長は「大河原町（以下：本町）の小学校は県内トップクラス、中学校はトップグループである」との話であったことから、今年度もこの結果等について以下伺う。</p> <p>①令和5年度の本町の結果を伺う。 ②今年度の結果をどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>(2)全国学力テストと合わせて「生活・学習習慣に関するアンケート」も実施され、その結果も公表された。ことから本町の結果について以下伺う。</p> <p>①児童生徒の家庭学習時間及び通塾率を伺う。併せて他地域との比較を伺う。 ②児童生徒の読書時間を伺う。併せて、昨年度との比較を伺う。</p> <p>(3)昨年12月23日に「全国体力テスト(対象：小学5年・中学2年)」の結果が公表された。同じく河北新報の記事によると、新型コロナウイルスの感染拡大による運動機会の減少で全国的に低下傾向ではあるが、体力合計点が県内の小中男女全てで2008年度の調査開始以来、過去最低となったとの報道であったことから以下伺う。</p> <p>①本町の体力合計点の結果を伺う。 ②この結果をどのように受け止めているのか伺う。 ③2023年度から「体力・運動能力向上センター（県教委の新組織）」が設置されたが、この活用状況について伺う。</p>
		2.おおがわら夏まつりについて	8月12日、4年ぶりに「おおがわら夏まつり」が開催された（令和5年度予算委員会の説明では、100周年のイベント等の委託で100万円、ステージ設営費で観光物産協会に50万円、会場整備費用で商工会に200万円と説明あり）。当日は、若干雨が降ったものの町内外からたくさんの方々会場に足を運んでいただいた。今回から花火の打上げ場所を従来場所から上流側に移す等の新たな試みもあった。実行委員会の皆様、そして関係者の皆様のご尽力に感謝と

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
9 番	須藤 慎	2. おおがわら夏まつり	<p>御礼を申し上げます。次年度は更により良いおおがわら夏まつりにしていただきたいという想いと、大会会長が町長であることから以下伺います。</p> <p>(1) 今回の打上げ場所は初めての試みであった。この点についての評価を伺う。</p> <p>(2) 19時30分から20時までの30分間の打上げだった。少し物足りないという声を多くいただいた。打ち上げの数と時間を増やすべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 多くの方々から「ナイアガラ」を見たい、やってほしいとの声をいただいた。次年度検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) ステージを使っのイベント等、好評であった。今回の評価を伺う。</p> <p>(5) 次年度へ向けての改善点等、担当課や実行委員会等でどのような話し合いが行われたのか伺う。</p>
10 番	高橋 豊	1. デジタル地域通貨について	<p>新型コロナウイルスの感染症が5類感染症に移行したことなどを受けて、経済活動が勢いを増してきた。しかしながら、以前の状況にはまだ戻らず、ロシアによるウクライナへの進行が世界的な物価上昇を引き起こし、生活への影響が続いている。コロナ禍において、この先が見通せていないこのような状況に対処するため、本町では交付金の支給や商工会との連携によるプレミアム商品券などの施策を展開し、消費の刺激に努めてきた。同時に、コロナ禍の中での旅行や外出が見直され、非接触型のキャッシュレス決済が増加している。このような背景の中で、全国の自治体で広まっているのがデジタル地域通貨の導入である。このデジタル地域通貨は、まちの活性化や魅力の再発見に貢献する可能性がある。以下、本町の対応について伺う。</p> <p>(1) 全国の自治体で取り入れられつつあるデジタル地域通貨に対する本町の認識と考えについて伺う。</p> <p>(2) 今後、本町で取り組む経済対策についての事業や施策について伺う。</p> <p>(3) デジタル地域通貨は、本町ではDXに向けた理念として「SustainableでWell-beingなSmartTown」を掲げていて、その方向性にも合致するものとする。新たな可能性の導入を含め、今後の本町におけるまちづくりの展望について伺う。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
11 番	佐藤 巖	1. おおがわら産物発信「みんなの市場」設置について	<p>令和4年3月定例議会、令和5年3月定例議会と2度提言して来た大河原地方卸売市場の一部に「みんなの市場設置」を改めて質問いたします。</p> <p>町長は令和4年3月会議での提言に対して、答弁は市場の立地環境は国道4号線と県道14号線の交差する県南部の交通の要衝で仙南地域の拠点と認識しており、市場敷地内の活用方法の検討に当たり施設整備の方向性を見定め共存出来る施設が可能かどうか研究したいとの答弁であった。また、本年3月会議での町長の答弁は、改めて市場敷地活用に当たっては地域流通の拠点としての地方卸売市場の必要性や存在意義をしっかりと受け止めつつ土地の利活用について引き続き調査していくとの答弁だった。</p> <p>私共の会派も市場の官民一体の地域づくりに関し種々調査研修を行っており、卸売市場の必要性を重視した「みんなの市場」設置をあらためて強く望むことから以下、伺う。</p> <p>(1)卸売市場敷地の利活用に関しての調査・研究の進捗状況はどうか。</p> <p>(2)「みんなの市場」設置の必要性について改めて町長の見解を伺う。</p>
12 番	大沼 常次	1. 小・中学校教職員の多忙化解消に向けた町教委としての取り組みについて	<p>(1)町小・中学校における教職員の在校時間の実態はどのようになっているか。(6月の実績から)</p> <p>(2)町教委として(1)の実態をどのように捉えているか。</p> <p>(3)学校の多忙化解消に向けて、国(文科省)、県教委それぞれ取組みの方針を发出しているが、管下の学校を直接、管理運営している町教委も目に見えるような具体的、効果的な対策、取組みの方針を示すべき責任があると思うが、町教委としてどのように考えているか。</p>
		2. 白石川右岸河川敷整備事業の進捗について	<p>(1)パークゴルフ場の供用開始に目途はついたのか。</p> <p>(2)パークゴルフ場の事業の収支計画はどのようになっているのか。</p> <p>(3)パークゴルフ場の委託事業者が決定されたようであるが、詳細な説明を願う。</p> <p>(4)MTBパークの維持管理のための委託料として550万円が計上されている。MTBパークの年間稼働日数と1日当たりの経費コストはいくらか。隣接する大河原公園の維持管理料が570万円と比較すると税金のかけ過ぎではないかと思う。委託業務の見直しや縮小は考えていないか。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
12 番	大 沼 常 次	2. 白石川右岸河川敷等整備事業の進捗について	<p>(5) 高水敷芝生ゾーンの具体的な活用事業の見通しを説明願う。</p> <p>(6) 白石川右岸河川敷整備と大河原公園を連結させる計画が必要ではないか。 例えば、大河原公園と右岸河川敷を「ジップライン」で繋ぐ構想等。 また、白石川という素材を活用した「カヌー遊び」「渡し舟」など集客できる手法を検討する価値はあると思うがいかがか。</p> <p>(7) サイクリングロードについては全長 2.7km にも及び、散歩、サイクリングもいいが、このロングコースを利用して、今話題になっている新しい電動乗り物、電動モビリティ、セグウェイ等を導入することによっても集客が期待できると思われるがいかがか。</p> <p>(8) 県が整備した親水護岸についての活用計画が見えない。現状のままでの活用は難しいと思われるが、その方向性について具体的な説明を願う。</p> <p>(9) パーク全体の管理面積が広大であり、パークゴルフ場周辺の傾斜地等については委託事業者の管理エリアと承知しているが、その他の堤防全体、芝生の管理や雑草の除去などの維持管理はどうする予定なのか。またそれらに要する経費は年間どの程度と見込んでいるのか。</p>
13 番	山 崎 剛	1. バリアフリー促進移動円滑化方針を策定を	<p>遠野市は全ての人が住みやすい社会の実現に向け、移動等円滑化促進方針「市バリアフリーマスタープラン」を策定しました。バリアフリー法に基づく制度は東北で初となります。遠野市の市役所通り、JR 遠野駅がある中心市街地、周辺商業施設や福祉施設、公園などを促進地区に設定。高齢者や障がい者、子ども連れ、旅行者らに配慮したまちづくりを目指しております。市は当事者らと、「まち歩き点検」を実施して、歩道と車道の段差や傾斜、案内表示の不足、使いづらい多目的トイレなど多くの問題点が指摘されました。方針を策定すると道路のバリアフリーに関する交付金の重点配分など優遇措置があるようです。本町が計画策定した第 6 次大河原町長期総合計画後期基本計画策定に係る住民満足度調査結果の中で大河原町のまちづくりについての問いで「バリアフリー化に関すること」の数値が高かったようです。</p> <p>今後、予算規模の大きな事業にはすぐ着手できないと思われる。基本理念を定め、将来のまちづくりへ着実に反映することが大切だと思われるので見解を伺います。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
13 番	山 崎 剛	2. 大小の体育着について	<p>町内3小学校の運動会がコロナ禍で実施できなかったが、今年5月に久しぶりに保護者限定の中で行われましたが競技終了後に2、3人の保護者の方から大小の体育着について質問を受けました。</p> <p>内容は、男子児童はブルー系、女子児童はえんじ色の別色で同色にならないか。また、パンツを短パンではなく、中学生が使っているハーフパンツに変更できないか。同色であると、きょうだいで譲ることができるので個人的な金銭のやり繰りが楽になるなどの要望があり答弁に苦慮致しましたので、教育長の見解を伺います。</p>